ワンエー

取扱説明書

各台音響システム
Ｖ－３Ａ型

この度は、『各台音響システム』をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、正しくお使い下さい。
また、本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

目　　次

1.仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2.外観図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2-1. スピーカー（V-3SA） 4

2-2. 制御ユニット（V-3C） 5

3.取付方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

3-1. 取付金具で固定する場合 6

3-2. 両面テープ(オプション)で固定する場合 6

4.基板端子配置図 ・・・・・・・・・・・・・・ 7

5.配線方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

6.動作説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

6-1. 大当り入力 10

6-2. 不正入力 13

6-3. 全灯入力 13

6-4. 音量の調整 13

6-5. 入力の優先順位 14

7.オプション一覧表 ・・・・・・・・・・・・・ 15

8.使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

- 納入に際しての重要事項 -

今回納入致します各台音響システム「Ｖ３」は、販売に際して、事前に各都道府県警に許可申請を行ない、問題ないとの判断を頂いた地域の店舗様にのみ、納入しております。
但し、製品の性質上、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」についての、法改正や解釈基準の変更、警察担当者の交代等により、今後撤去指導が行なわれる可能性が皆無である事を保証するものでは有りません。

１．本製品を撤去された場合、いかなる事情であっても、返品は一切お受けできません。

２．本製品の使用により、万一、公安委員会等より「指導」をはじめとするいかなる行政処分が下った場合についても、営業損失等の補償は一切致しません。

上記条項に関する説明を受け、ご同意を頂きました事は、工事終了時点で頂戴します「工事完了・同確認書」にご署名を頂く事でご承諾頂いた事とさせて頂きます。

注意 安全上のご注意

■表示内容を無視して誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠ 警告	守らないと生命や身体に重大な被害が発生する可能性がある内容です。
⚠ 注意	守らないと軽傷程度の物損事故が発生する可能性がある内容です。

■お守りいただく内容の種類を以下の区分で説明しています。

⚠	注 意	気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
⚠	注 意	火傷の恐れがある「高温注意(熱い面)」の表示です。
⊘	禁 止	してはいけない「禁止」の内容です。
⊘	禁 止	分解することにより、感電などの障害が起こる可能性があるため「分解禁止」の内容です。
❗	強 制	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	強 制	使用者に電源を切るように指示する表示です。

⚠ 警　告

■異常が発生した場合

煙が出ている、変な臭いや音がする場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

内部に水や異物が入った場合や本体が破損した場合は、使うのをやめ、電源を落として下さい。

お客様による修理は危険ですから、絶対にしないで下さい。

■電源コードについて

本製品の電源コードは、渡り線になっており専用の端子がついています。呼び出しランプ専用のプラグ付電源渡り線をお使い頂きトランスの２次側のコンセントに差し込んで下さい。その際、コンセントは根元までしっかりと差し込みゆるみの無いようにして下さい。接触不良により発熱や感電の原因になります。

電源渡り線やプラグ付電源渡り線が島内の装置や設備に挟まれたりからまったりしないようにして下さい。コードが断線したり被覆が破れ感電や火災の原因になります。

■設置について

本製品の設置は、取扱説明書の「取付方法」を良くお読みになり正しく設置して下さい。
設置が不充分な場合、製品の落下などで怪我をすることがあります。

本製品の電源渡り線から他の製品へ電源の割り込みは、しないで下さい。

■ご使用に際して

電源投入の際は、必ずAC24Vであることを確認した上で行って下さい。AC24V以外の電源に接続した場合、本体が破損し火災や感電の原因になります。

各接点入力端子には、絶対に電圧をかけないで下さい。内部回路が破損し、破裂や発火の原因になります。

■基板交換について

本製品の基板交換を行う際は、必ず電源を切ってから行って下さい。通電状態で基板の交換を行った場合、ショートや感電により怪我をする恐れがあります。

基板や端子等の金属面には触れないで下さい。
火傷や感電する恐れがあります。

⚠ 注　意

■清掃に際して

本製品の清掃を行う際は電源を落としてから行って下さい。

■超高輝度ＬＥＤについて

超高輝度ＬＥＤを長時間見続けますと、目に障害を引き起こす場合があります。

1.仕様

型　　式 ：Ｖ－３Ａ
（スピーカー：Ｖ－３ＳＡ、制御ユニット：Ｖ－３Ｃ）

電　源　電　圧 ：ＡＣ２４Ｖ

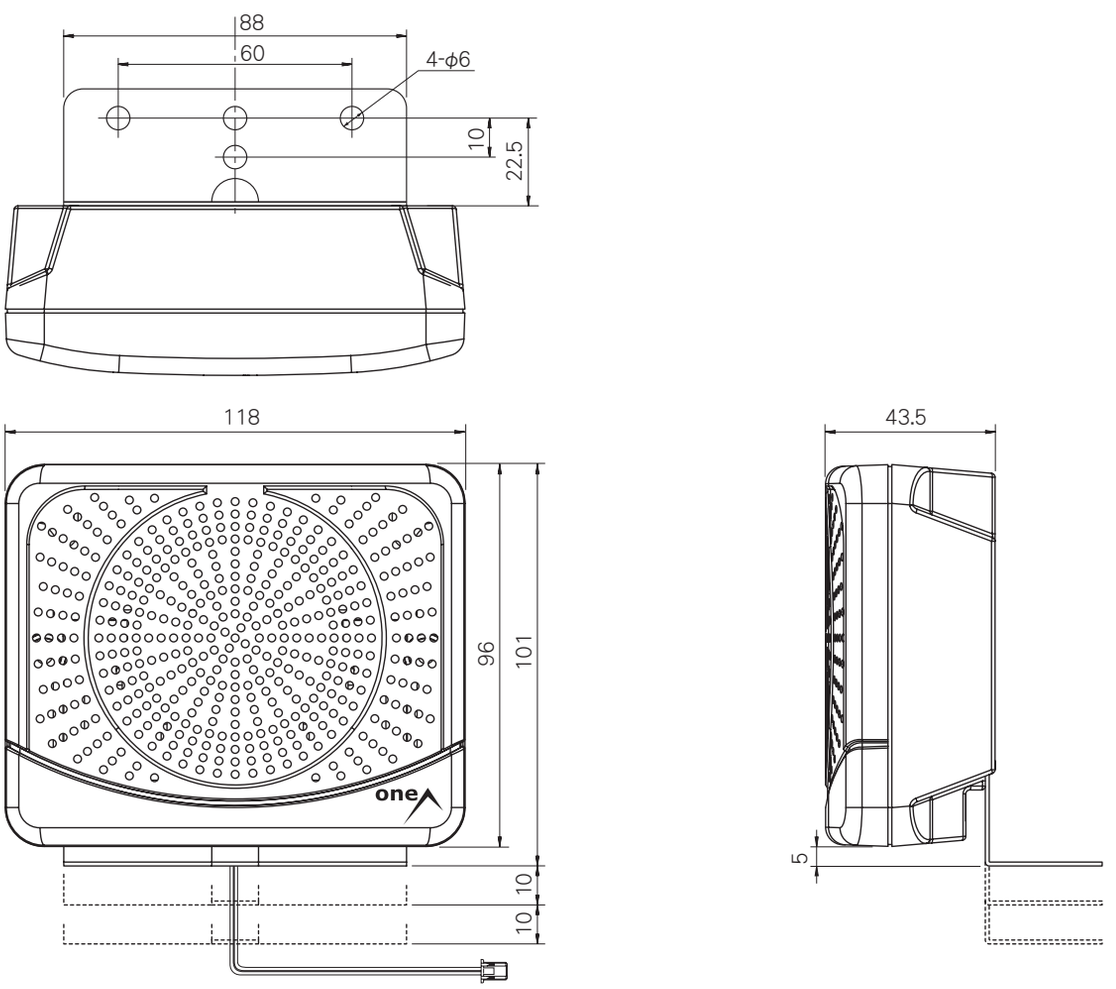
消　費　電　力 ：Ｍａｘ．６Ｗ
（弊社製回転灯「ダイヤナ」と接続した場合の消費電力はＭａｘ．１１Ｗになります。）

接 続 保 証 台 数：６０台

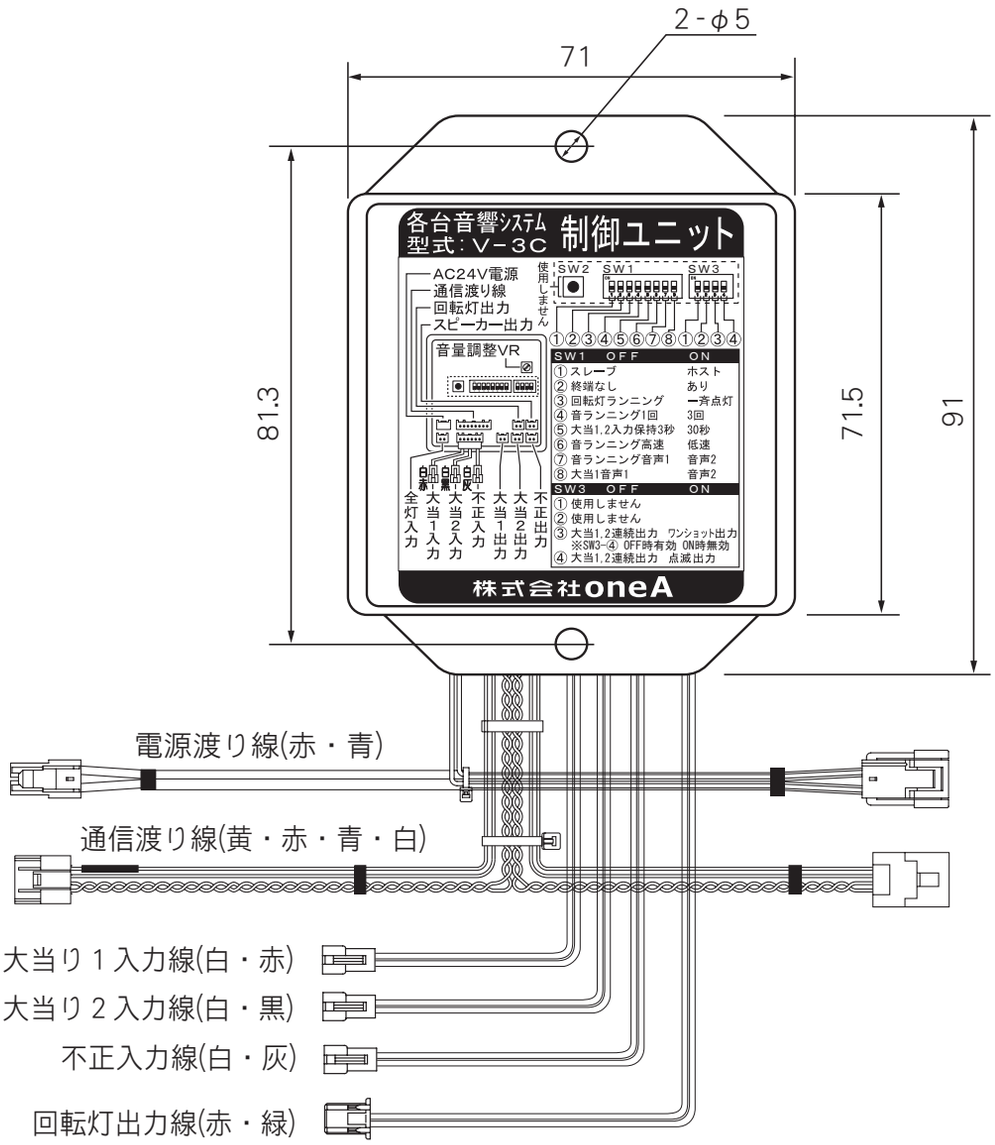
スピーカースペック：インピーダンス　８Ω
最大入力　３Ｗ

2.外観図

2-1. スピーカー（V-3SA）

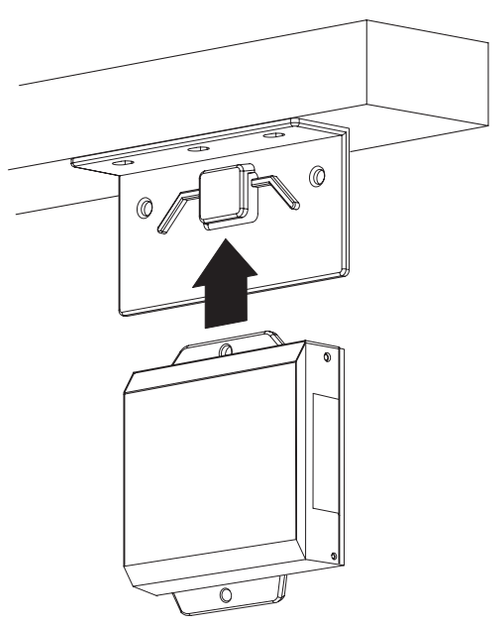


2-2. 制御ユニット（V-3C）



●制御ユニット取付方法

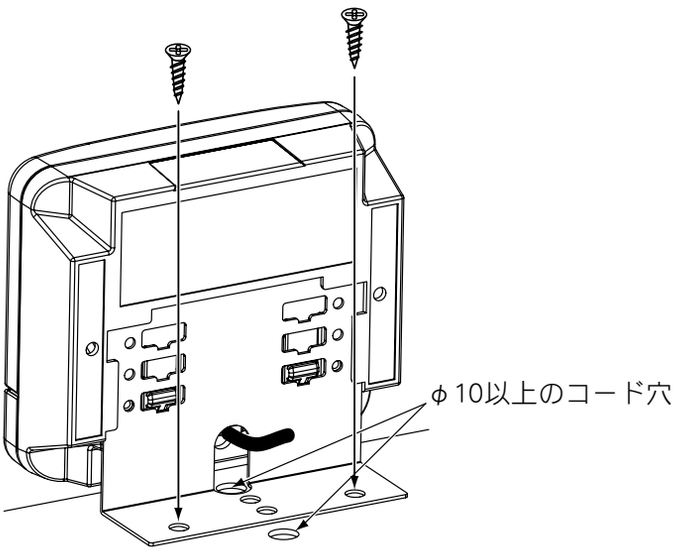
アタッチメントを設置し、制御ユニットを矢印の方向に差し込んでください。
カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。



3. 取付方法

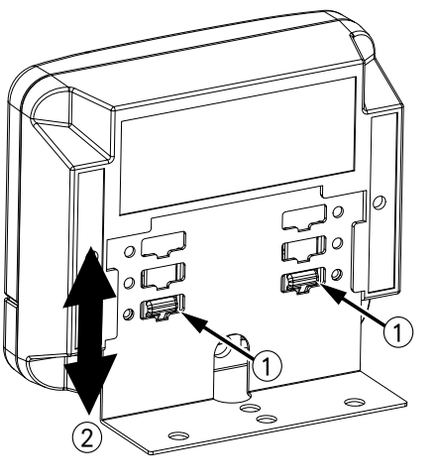
3-1. 取付金具で固定する場合

設置状況に合わせて、φ 10 以上のコード穴を開け、呼び径 4mm の木ビスで固定させてください。



※設置状況に合わせて穴を開けてください

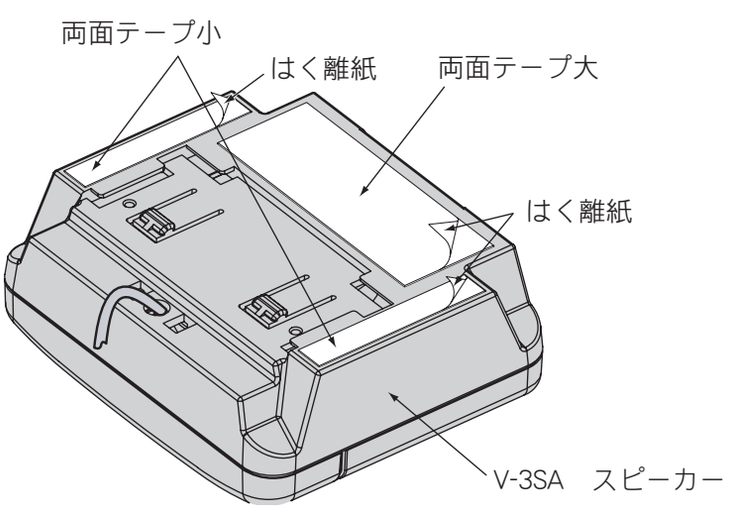
取付金具の高さを変更する場合



①ボディのフックを 2 ヶ所同時に押して外します。
②本体を上下にずらして高さを調節します。
※この時フックが確実にかかる様に注意して下さい。

3-2. 両面テープ (オプション) で固定する場合

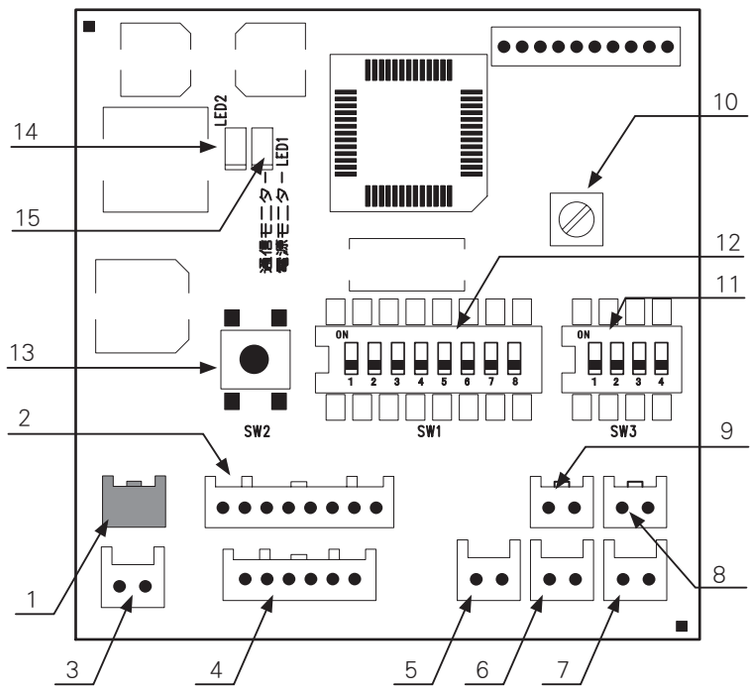
両面テープ (大× 1、小× 2) [オプション品番：F745] を本体裏面にそれぞれ貼り付けてください。
両面テープのはく離紙をはがして、取り付けてください。



注意 スピーカーの両面テープ貼り付け部および取り付け場所の表面に付いているゴミや油分、汚れ等は確実に拭き取って下さい。

両面テープを使用しての取り付けについては、落下の恐れがありますので必ずしも安全を保証するものではありません。
設置する環境（段差や粗面、凹凸のあるところ等）により接着強度が得られない場合があります。
そのような場合は、取付金具を使用しての取り付けを推奨致します。

4. 基板端子配置図



基板内部品の説明

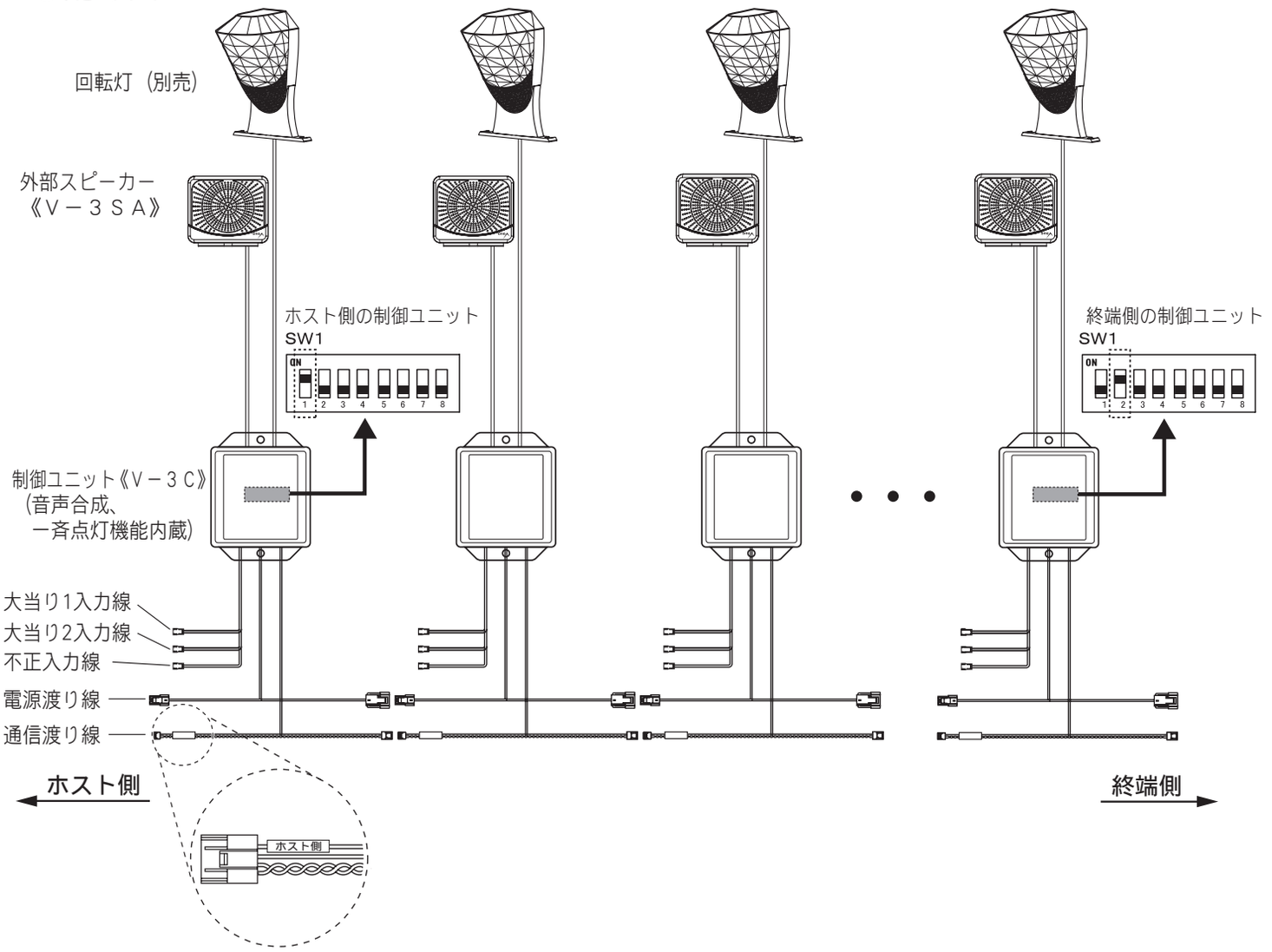
1. 電源入力用端子
   (※電源渡り線は他の端子に挿入しないでください。
   間違えて挿入すると基板が破損します。)
2. 通信渡り線用端子
3. 全灯入力端子　　(接点入力)
4. 大当り 1 入力端子 (接点入力)
   大当り 2 入力端子 (接点入力)
   不正入力端子　　(接点入力)
5. 大当り 1 出力端子 (接点出力)
6. 大当り 2 出力端子 (接点出力)
7. 不正出力端子　　(接点出力)
8. スピーカー出力端子
9. 回転灯出力端子 (接点出力)
10. 音量調整用ボリューム
11. SW3 ディップスイッチ
12. SW1 ディップスイッチ
13. SW2 タクトスイッチ (使用しません)
14. 通信モニターランプ
15. 電源モニターランプ

注意
・接点出力の最大容量は、すべて 5mA です。
・各入出力接点端子は 1 ピンが (+) になっています。極性にご注意下さい。

禁　止
その他基板への中継端子には、弊社製基板以外のものは絶対に接続しないで下さい。
故障や誤動作の原因となります。

5.配線方法

●配線図



●配線方法とアドレス取得方法

⚠ 注 意 正しい配線が終了するまでは、本体の電源を供給しないで下さい。

1．制御ユニットを各遊技台の島内部に取り付けます。

2．制御ユニットから出ている入力線をホールコンピューター・呼び出しランプ・不正機器等に接続します。

3．制御ユニットから出ている渡り線（電源・通信）を結線します。

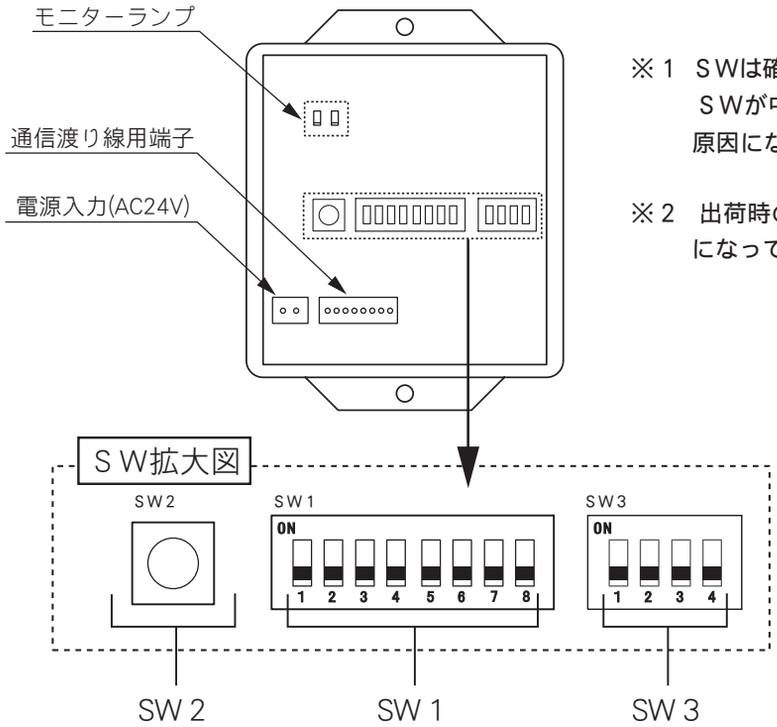
4．**ホストになる制御ユニットの基板上にあるディップスイッチの SW1-①と、終端になる制御ユニットの SW1-②を“ON”**にします。（上図参照）

5．電源（遊技機とは別の AC24V）を供給すると電源モニターランプ（P.7 基板内部品「15」）が点灯し、自動でアドレス取得を開始します。

6．アドレスの取得が正常に行われると基板上の通信モニターランプ（P.7 基板内部品「14」）が点滅します。

※電源 OFF 時にはアドレスが消去されますので、ホスト機・終端機の SW 設定は常に ON にしてお使いください。

6.動作説明



※１　ＳＷは確実に「ＯＮ」又は「ＯＦＦ」に設定して下さい。
　　ＳＷが中間で止っている状態では、誤動作を引き起こす原因になります。

※２　出荷時の制御ユニットの設定は、全てのＳＷがＯＦＦになっています。

ＳＷの名称	各機能の切り替え	説明
ＳＷ１－①	アドレス取得（ホスト機設定）	P.8「配線方法とアドレス取得方法」をご参照下さい。
ＳＷ１－②	終端切替え　(終端機設定)	
ＳＷ１－③	回転灯ランニングの動作パターン切替え	ＯＦＦの時：大当り１入力時、回転灯をランニングさせます。 ＯＮの時　：大当り１入力時、回転灯を一斉点灯させます。
ＳＷ１－④	音声ランニング回数切替え(ホストのみ)	ＯＦＦの時：音声ランニング動作を１回に設定します。 ＯＮの時　：音声ランニング動作を３回に設定します。
ＳＷ１－⑤	大当り１，２の入力保持	ＯＦＦの時：大当り入力を３秒間保持させる設定を行います。 ＯＮの時　：大当り入力を３０秒間保持させる設定を行います。
ＳＷ１－⑥	音声ランニングのスピード切替え	ＯＦＦの時：音声ランニングのスピードを高速(0.15 秒)に設定します。 ＯＮの時　：音声ランニングのスピードを低速(0.3 秒)に設定します。
ＳＷ１－⑦	ランニング音声パターン切替え	ランニング発生時に再生させるランニング用音声を設定します。
ＳＷ１－⑧	大当り１音声切替え	大当り１入力時に再生させる音声パターンを設定します。
ＳＷ２	使用しません	**リセットSWです。通常は触らないで下さい。**
ＳＷ３－①	使用しません	**メンテナンス用SWです。通常は触らないで下さい。**
ＳＷ３－②	使用しません	**メンテナンス用SWです。通常は触らないで下さい。**
ＳＷ３－③	大当り１，２出力ワンショット	ＯＦＦの時：連続で出力を行います。 ＯＮの時　：0.5 秒間だけ出力を行います。 （ＳＷ３－④がＯＦＦ時のみ有効）
ＳＷ３－④	大当り１，２出力の点滅信号	ＯＦＦの時：SW ３－③で設定した出力を行います。 ＯＮの時　：SW ３－③の設定を無効とし、0.1 秒間隔の点滅信号で出力を行います。

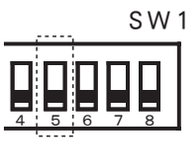
6-1. 大当り入力

大当り 1，大当り 2 に信号が入ると、「大当り 1 出力」「大当り 2 出力」「スピーカー出力 (音声)」「回転灯出力」から出力されます。

6-1-1. 大当り 1，2 の入力保持

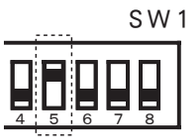
大当り 1 と大当り 2 入力時の信号入力保持時間を設定します。

○入力保持 1　[SW1- ⑤を OFF]



大当り 1，2 信号の入力保持時間を 3 秒間に設定します。

○入力保持 2　[SW1- ⑤を ON]

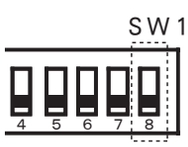


大当り 1，2 信号の入力保持時間を 30 秒間に設定します。

6-1-2. 大当り 1 の音声出力変更

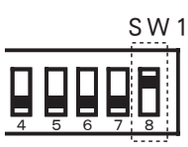
大当り 1 入力を音声出力させた場合の音声パターンを設定します。

○大当り 1 音声パターン 1　[SW1- ⑧を OFF]



大当り 1 入力時に音声パターン 1 を再生します。

○大当り 1 音声パターン 2　[SW1- ⑧を ON]

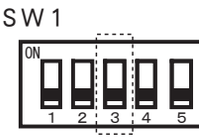


大当り 1 入力時に音声パターン 2 を再生します。

6-1-3. ランニングモード

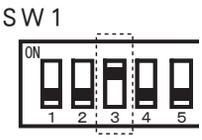
大当り１入力から１秒後に、アドレスを取得した一列で、音声及び回転灯のランニング動作を行います。
ここでは、回転灯ランニングパターンの設定、音声ランニング動作回数の設定、音声ランニングスピードの設定、ランニング発生時の音声設定をすることができます。
※大当り２入力ではランニング動作を行いません。

○回転灯ランニング動作　[SW1-③を OFF]



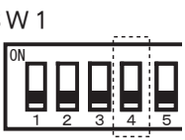
大当り１入力後、回転灯が８秒間のランニング動作を行います。

○回転灯一斉点灯動作　[SW1-③を ON]



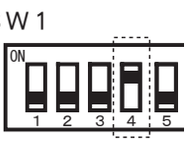
大当り１入力後、回転灯が８秒間の一列一斉点灯動作を行います。

○音声ランニング回数１回　[SW1-④を OFF]



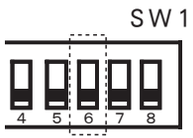
大当り１入力後、動作する音声ランニング回数を１回に設定します。

○音声ランニング回数３回　[SW1-④を ON]



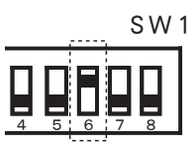
大当り１入力後、動作する音声ランニング回数を３回に設定します。

○音声ランニング高速　[SW1-⑥を OFF]



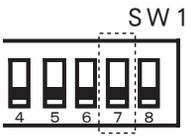
音声ランニングのスピードを「高速 (0.15 秒)」に設定します。

○音声ランニング低速　[SW1-⑥を ON]



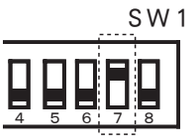
音声ランニングのスピードを「低速 (0.3 秒)」に設定します。

○ランニング音声パターン１　[SW1-⑦を OFF]



ランニング発生時にパターン１の音声を再生します。
工場出荷時にはパターン１の音声（無音）になっています。

○ランニング音声パターン２　[SW1-⑦を ON]

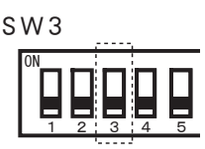


ランニング発生時にパターン２の音声を再生します。

6-1-4. 大当り１，大当り２の出力　連続⇔ワンショット切替え

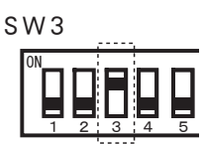
大当り１と大当り２入力に対する出力方法を選択します。
※ SW3-④が「OFF」に設定されている場合のみ、この設定は有効になります。

○連続出力　[SW3-③を OFF]



大当り入力判断中は、それぞれの出力を連続で行います。

○ワンショット出力　[SW3-③を ON]

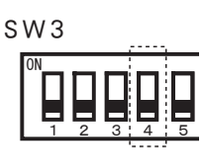


大当り入力判断後に、それぞれの出力を 0.5 秒間のみ行います。

6-1-5. 大当り１，大当り２出力の点滅信号設定

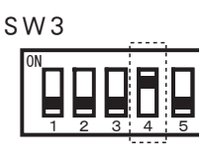
大当り１と大当り２入力に対する出力方法を選択します。

○連続出力　[SW3-④を OFF]



大当り入力判断中は、ＳＷ３－③で設定した方法で出力します。

○点滅信号出力　[SW3-④を ON]



大当り入力判断中は、0.1 秒間隔の点滅信号で出力を行います。
※ＳＷ３－④がＯＮの時、ＳＷ３－③の設定は無効になります。

6-2. 不正入力

不正入力端子に信号が入ると、「スピーカー出力（不正警告音）」が再生され「回転灯出力」から出力されます。

6-3. 全灯入力

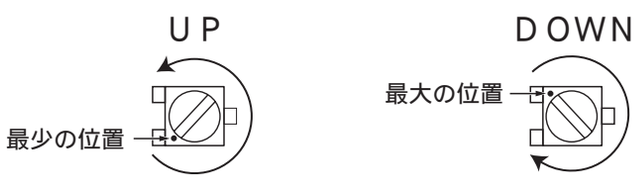
全灯入力端子に信号が入ると、一列全台の「回転灯出力」から出力します。

6-4. 音量の調整

スピーカーから再生させる音声の音量を調整します。
音量の調整は、制御ユニットの基板上にある音量調整用ボリューム（P.6 参照）で調整することができます。

◇反時計回り・・・音量アップ
◇時計回り・・・・音量ダウン

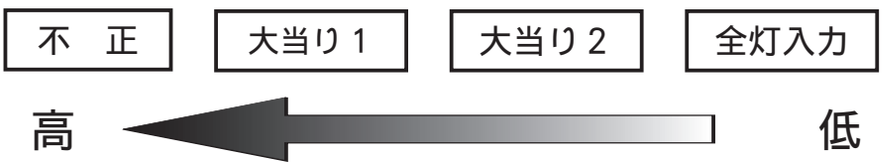
※音量調整には、別途精密ドライバー（マイナス）を
ご使用ください。



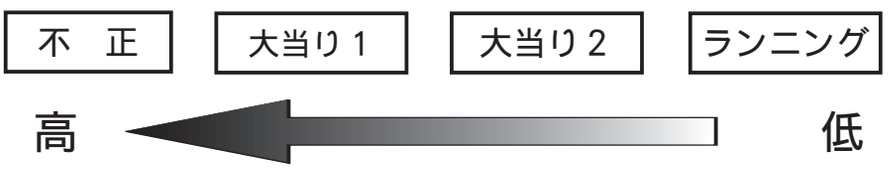
6-5. 入力の優先順位

入力の優先順位は以下の通りです。

●入力の優先順位



●スピーカー出力の優先順位



●回転灯出力の優先順位

7. オプション一覧表

品番	品名	線色	主な用途	線長
F920	光センサー　SMP1200	白・黒	光の信号検知用	1.2m
F154	電源渡り延長線	赤・黄	台間連結用	1m
F833	通信渡り延長線	赤・黄・灰・緑	台間連結用	1m
F878	汎用出力線	青・黒	ホールコンピュータ・呼び出しランプ等に信号をあげる場合に使用	800mm
F879		紫・黒		800mm
F880		灰・黒		800mm
F742	音声書込みアダプター	ー	メモリカードに保存した音声を V-3 に転送する場合に使用	ー
F744	メモリカード	ー	PC で作成した音声を書込みアダプターに保存する場合に使用	ー
F745	両面テープセット	ー	スピーカー取付け用	ー

8. 使用上の注意

1．本体に電源を供給するときは、配線をよく確かめてから行って下さい。

2．台交換後の「各台音響システム」との結線の際には、必ず呼び出しランプ本体との電源を切ってから行って下さい。

3．中継線には、絶対に電圧をかけないで下さい。内部回路が破損することがあります。

4．本体を清掃する際には、洗剤等はご使用にならず、水で濡らし固く絞った柔らかい布等で、力を入れずに汚れを拭き取って下さい。

5. 増台・減台の際は、P. 8 の手順に従い、必ずアドレス設定を行ってください。

> **注意** この取扱説明書に記載した注意事項・禁止事項に反したお取り扱いにより発生した故障や損害等については、責任を負いかねます。
> ご了承願います。

◎交換部材の購入については、当社営業所または各台音響システムの購入代理店様へお問い合わせください。

仙台営業所	〒 983-0014	仙台市宮城野区高砂 1-1-15 高砂関弐番館 2 階 207 号	TEL．022(786)0277
東京営業所	〒 170-0012	東京都豊島区上池袋 4-1-1 カブト 54 上池袋ビル 501 号	TEL．03(3949)7155
横浜営業所	〒 222-0033	横浜市港北区新横浜 3-8-11 KDX 新横浜 381 ビル 5 階 B-2	TEL．045(476)2577
名古屋営業所	〒 465-0093	名古屋市名東区一社 3-105-1	TEL．052(709)3332
大阪営業所	〒 538-0044	大阪市鶴見区放出東 3-30-20	TEL．06(6967)3330
福岡営業所	〒 812-0004	福岡市博多区榎田 2-9-38 SK ビルディング 403 号	TEL．092(432)1011

製品のご使用方法・不明点については、事前に取扱説明書をご一読のうえ、お客様サポートセンターへお問い合わせください。

お客様サポートセンター
〒 538-0044　大阪市鶴見区放出東 3-30-20　　TEL．06(6967)3363

株式会社oneA（ワンエー）
本社　〒 538 - 0044　大阪市鶴見区放出東 3 - 30 - 20
TEL 06(6962)7771　FAX 06(6967)3020
URL http://www.one-a.co.jp

ASL1272C ①